令和元年度 花巻市行政評価委員会の評価結果に対する市の考え方

令和2年1月 花巻市

## 目 次

|                | 政策No. • 政策名 |   | 施策No. • 施策名  | 部会    | ページ |
|----------------|-------------|---|--------------|-------|-----|
| 1-4            | 観光の振興       | 1 | 観光の魅力向上      |       | 1   |
| 1 4            |             | 2 | 観光情報の発信      | しごと   | 3   |
| 1-6            | 雇用環境の充実     | 1 | 職業人材の育成      |       | 4   |
| 1 0            | 住⊓垛垸♥別人     | 2 | 勤労者福祉の向上     |       | 6   |
| 2-2 生活基盤の充実    | 生活其般の充実     | 1 | 道路環境の充実      |       | 8   |
|                | 土石至盛の九天     | 2 | 公共交通の確保      | ・暮らし・ | 10  |
| 2-4            | 日常生活の安全確保   | 1 | 生活相談の充実      |       | 11  |
| Z <del>4</del> |             | 3 | 交通安全の推進      |       | 13  |
| 3-1            | 子育て環境の充実    | 2 | 家庭の教育力向上     |       | 15  |
| 3 1            | 丁月で環境の元夫    | 3 | 就学前教育の充実     | 人づくり・ | 17  |
| 3-2            | 学校教育の充実     | 4 | 教育環境の充実      | 地域づくり | 19  |
| 3-4            | スポーツの振興     | 3 | 大規模スポーツ大会の開催 |       | 20  |
| 行政評価の改善に関する提言  |             |   |              |       | 21  |

施策№1-4-1「観光の魅力向上」

| 評価項目            | 検証・評価結果、指摘事項等                 | 市の考え方                       | 担当部課名 |
|-----------------|-------------------------------|-----------------------------|-------|
| 「◎前年度評価の振り返り」にお | 機能している。                       | 来年度の評価においては、役割分担を明示するとともに、  |       |
| いて前年度の「Check=評  | 但し、具体的な現状や課題を市民に知らせるためには、     | まつりやイベントの主催者と、引き続き要因の明確化と要  |       |
| 価」⇒「Action=見直   | 表現に工夫が必要である。例えば、「役割分担が図られる    | 因別の対応を検討してまいります。            |       |
| し」が機能しているか。     | よう支援する」とあるが、まつりやイベントの主催者、     |                             |       |
|                 | 地域住民、行政の三者が具体的に果たすべき役割分担を     |                             |       |
|                 | 明示しないと、支援すべき内容が明確にならない。ま      |                             |       |
|                 | た、「後継者が不足しているなどの課題」とあるが、少子    |                             |       |
|                 | 高齢化、地域住民の関心の薄さ、仕事が大変など要因が     |                             |       |
|                 | 様々である。要因別に対策が異なるので、要因を明確に     |                             |       |
|                 | すべきである。                       |                             |       |
| 「5 施策を構成する事務事業の | 1番目と3番目の項目には「なし」とのみ記入。事務事業    | 農村施設維持事業と道の駅石鳥谷施設再編事業について   |       |
| 検証」が的確に行われている   | の成果は全て A ではない。したがって、成果が A ではな | は、目標は達成したものの、目標値を上回らなかったこと  |       |
| か。              | い事務事業があるので、なしの理由を具体的に明示する必    | から成果がBとなったものです。また、観光イベント開催  |       |
|                 | 要がある。                         | 事業と広域観光振興事業については、イベントの入込者数  | 商工観光部 |
|                 |                               | が悪天候により減となったことによるものであり、1 番目 | 観光課   |
|                 |                               | の項目の①~③の事業に該当するものではないことから   |       |
|                 |                               | 「なし」としたものです。                |       |
|                 |                               | 3番目の項目については、2番目の項目に記載した検証結  |       |
|                 |                               | 果と重複するものであることから「なし」としたものです。 |       |
|                 |                               | 来年度の評価においては丁寧な記載に努めてまいります。  |       |
| 「3 成果指標の達成状況」の  | 的確に行われている。但し、背景・要因を分析し、対策を    | 来年度は、成果指標を「観光施設」と「イベント」それぞ  |       |
| 「(達成状況に関する背景・要  | 講ずるには、全体数の動向に関する成果指標だけでは不十    | れの入込数に分けて分析を進めてまいります。       |       |
| 因)」の分析が的確に行われて  | 分である。外国人観光客の増加が全体数の増加に寄与した    |                             |       |
| いるか。            | ことが指摘されているように、成果指標を全体数の動向だ    |                             |       |
|                 | けではなく、観光施設やイベントをいくつかに区分し、さ    |                             |       |
|                 | らに年齢階層別、地域別、国籍別ごとに動向を把握するな    |                             |       |
|                 | どすれば、課題が明確になる(例えば、高齢者をターゲッ    |                             |       |
|                 | トにする、関東圏在住者をターゲットにするなど)のでは    |                             |       |

|                 | ないか。成果指標の改善を、次期の成果指標の策定の際に |                            |  |
|-----------------|----------------------------|----------------------------|--|
|                 | 検討してほしい。                   |                            |  |
| 「6 施策の総合的な評価」が的 | 課題や今後の方向性については特に異論はない。但し、メ | 来年度の評価においては具体的に明示して課題と方向性  |  |
| 確に行われているか。      | ニューの内容を具体的に明示して、花巻の課題と方向性を | の検証に活かすようにします。             |  |
|                 | 関連づけてほしい。                  |                            |  |
| ●シート記載内容全般について  | 成果指標に関して、イベントの人数の把握の仕方に関して | 来年度の評価においては、分かりやすく詳細な記載に努め |  |
|                 | ヒアリングで確認があったので、補足説明が必要と思われ | ます。                        |  |
|                 | る。達成状況に関する背景・要因の文章に、成果指標に明 |                            |  |
|                 | 示されていない数字に基づく説明があり、ヒアリングで確 |                            |  |
|                 | 認せざるを得なかった。                |                            |  |

施策№1-4-2「観光情報の発信」

| 評価項目  | 検証・評価結果、指摘事項等   | 市の考え方   | 担当部課名      |
|---|---|---|------------|
| 「◎前年度評価の振り返り」にお<br>いて前年度の「Check=評<br>価」⇒「Action=見直<br>し」が機能しているか。 | 機能している。   |   |            |
| 「5 施策を構成する事務事業の<br>検証」が的確に行われている<br>か。                            | 成果が C の事務事業があるので、「なし」の理由の明示が<br>必要である。なお、ヒアリングの際には多くの具体的な説<br>明があり、納得できた。検証シートにも具体的な説明を記<br>入してほしい。   | 観光情報発信事業については、「花巻観光協会ホームページのアクセス件数」の成果がCとなったものですが、平成3O年度中に速やかに改善対応をし、目標値には達しなかったものの大幅な改善が見られたところであり、既に取り組んでいることから「なし」としたところです。<br>来年度の評価においては、より具体的な説明の記載に努めます。 | 商工観光部 観光課  |
| 「3 成果指標の達成状況」の<br>「(達成状況に関する背景・要<br>因)」の分析が的確に行われて<br>いるか。        | 的確に行われている。達成度評価の際に、目標値との関連で評価されているが、対前年比での伸び率での評価も加味できないか、検討してほしい。また、目標値の設定が機械的であるとの指摘があった。訪日外国人観光客入込数については、他地域との比較についても補足的に明示してほしい。金額ベースの成果指標があってもいいのではないかという指摘があった。 | え、達成状況の説明の中でその他参考数値も交えた記載に  |            |
| 「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。   | 的確に行われている。課題と方向性について、並列的な表記になっているので、優先順位、ターゲットを明確にした表現にした方が、よりわかりやすくなる。   | 来年度の評価においては、分かりやすい記載に努めます。  |            |
| ●シート記載内容全般について  | 施策を実施する際に、このシートに直接記入できない事柄があることが、ヒアリングなどを通じて感じられる。そこで、自由記述欄を設けてはどうか、検討してほしい。  |   | 総合政策部秘書政策課 |

施策№1-6-1「職業人材の育成」

| 評価項目  | 検証・評価結果、指摘事項等  | 市の考え方   | 担当部課名                     |
|---|--|---|---------------------------|
| <ul> <li>評価項目</li> <li>「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check=評価」⇒「Action=見直し」が機能しているか。</li> <li>「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。</li> </ul> | 横証・評価結果、指摘事項等<br>機能している。  1番目の項目について「なし」となっているが、成果「C」の事業について、その理由、根拠を明示してほしい。成果 C の理由として、事務事業の目標値が高すぎるのではないか、という意見が出た。さらに、成果「C」の事業の向上策や対策が明示されていいのではないか。「新たに取り組む事業」として企業誘致が挙げられているが、花巻市内にある企業に関する情報発信などして、花巻市内の良い企業をもっとアピールしてはどうか。 | 就職支援事業で行っている就職ガイダンス事業は、雇用情勢の変化により毎年参加者の増減がみられますが、現在の人手不足から余剰に転じた際の受け皿となり得るよう、関係団体と合意のもと、事業の継続を決めています。ただし、本事業が人手不足の現下でも有効に機能するよう、関係団体と改善を図ってまいりたいと思います。また、シルバー | <b>担当部課名</b> 商工観光部  商工労政課 |
|   |  | 情報発信については、売手市場の状況下において、花巻市内の企業情報発信・PRを行ったとしても就職者の目に魅力的に映るかという懸念もあり、よりインパクトがあり、雇用拡大が見込める企業誘致の推進について記載をしたところです。   |                           |

|  |   | 各事業の実績について、一定の成果は出ておりますが、目標値の設定が現下の雇用情勢とかい離していると考えられることから、次回評価の際には、適切な目標値の設定とともに事業の向上策や対応策について具体的に記載し、「6 施策の総合的な評価」につなげてまいります。          |            |
|--|---|---|------------|
| 「3 成果指標の達成状況」の<br>「(達成状況に関する背景・要<br>因)」の分析が的確に行われて<br>いるか。 | 的確に行われている。  |   |            |
| 「6 施策の総合的な評価」が的<br>確に行われているか。                              | 今後の方向性に関して、花巻市内の企業に関する情報の発信、雇用のミスマッチ対策、若年者の職場定着に関する対策も含めるべきである。   | 今年度から企業競争力強化支援事業において新たに人材確保に係る「就職ガイダンス等出展」「求職求人サイト登録」「企業の紹介パンフレット等制作」を行う事業者に対する補助金支援を行っており、各課題への対策を講じたところです。来年度の評価においては、詳細な記載に努めてまいります。 |            |
| ●シート記載内容全般について   | 課題解決には、担当課だけで困難な場合は他部署との連携が必要であり、花巻市でもそうしていると思われる。そうしたことを明示するためにも、担当課名の記載だけでは不十分ではないか。共同業務を記載できるようにシートを改善できれば、いいのではないか。 | 本事業については商工労政課で実施しているものですが、<br>他課と連携して実施する事業については、連携していることが把握できる記載に努めてまいります。   | 総合政策部秘書政策課 |

施策№1-6-2「勤労者福祉の向上」

| 評価項目            | 検証・評価結果、指摘事項等               | 市の考え方                      | 担当部課名 |
|-----------------|-----------------------------|----------------------------|-------|
| 「◎前年度評価の振り返り」にお | 機能している。                     |                            |       |
| いて前年度の「Check=評  |                             |                            |       |
| 価」⇒「Action=見直   |                             |                            |       |
| し」が機能しているか。     |                             |                            |       |
| 「5 施策を構成する事務事業の | 的確に行われている。ただし、「新たに取り組むべき事業は | 経営判断や方針が企業によって異なるため、目指す方向性 | ]     |
| 検証」が的確に行われている   | ないか」での記述は抽象的であり、促進する事業の中身に  | を具体的に記述することは難しいところでありますが、市 |       |
| か。              | ついて具体的に、例えば、支援制度の充実(週休二日制の  | 内企業の取組状況を把握したうえで、具体的な方向性を示 |       |
|                 | 導入支援、有給休暇取得促進など)記述した方がよい。   | し、必要に応じて支援制度の創設について検討してまいり |       |
|                 |                             | ます。                        |       |
| 「3 成果指標の達成状況」の  | 的確に行われている。ただし、市民アンケート回答者の属  | 当課で実施している労働実態調査は、回答率が低く市内企 |       |
| 「(達成状況に関する背景・要  | 性(60 歳以上の割合が高い)を考慮しても、成果指標と | 業全体の状況を把握するには十分でないことから、現段階 |       |
| 因)」の分析が的確に行われて  | しては不十分である。商工労政課が実施している労働実態  | では補助的な資料として活用しております。今後、有効な | 商工観光部 |
| いるか。            | 調査結果に基づく成果指標を新たに加える方向で検討し   | データとして活用できるよう調査内容の充実を図るとと  | 商工労政課 |
|                 | てほしい。                       | もに、成果指標への活用について検討いたします。    |       |
| 「6 施策の総合的な評価」が的 | 「課題」として、ワーク・ライフ・バランスに取り組む企  | 取り組む企業が少ない理由を調べることは施策を構築す  |       |
| 確に行われているか。      | 業が少ないことが挙げられ、「今後の方向性」として、取り | るうえで重要と考えますので、詳細な実態把握に努めてま |       |
|                 | 組む企業を増やすことが挙げられている。取り組む企業を  | いります。                      |       |
|                 | 増やすためには、取り組む企業が少ない理由を具体的に明  |                            |       |
|                 | 確にする必要がある。例えば、十分な福利厚生を提供でき  |                            |       |
|                 | ているから、市の支援制度を利用する必要がないので少な  |                            |       |
|                 | いのか、十分な福利厚生を提供できていないが、利用すべ  |                            |       |
|                 | き市の支援制度メニューがないので少ないのか、など。後  |                            |       |
|                 | 者であれば、具体的な支援制度の充実を図りながら、取り  |                            |       |
|                 | 組む企業を増やすことができるようになるであろう。    |                            |       |

| ●シート記載内容全般について | 企業経営者の意識改革、ワーク・ライフ・バランス(仕事 | 現段階では、一般的なワーク・ライフ・バランスについて |  |
|----------------|----------------------------|----------------------------|--|
|                | と生活の調和)等の記述はあるが、抽象的である。企業経 | は啓蒙・啓発にとどまっており、具体的な方向性を示すた |  |
|                | 営者のどのような意識を改革するのか、どのような福利厚 | めには、企業訪問などによる市内企業の状況把握と現況に |  |
|                | 生が充実すると仕事と生活が調和するのか、具体的な記述 | ついて分析を重ねる必要があると考えております。分析の |  |
|                | があったほうがよい。商工労政課が実施している労働実態 | 過程においては、労働実態調査の活用を検討してまいりま |  |
|                | 調査をもっと利用したらどうか。            | す。                         |  |

施策№2-2-1「道路環境の充実」

| 評価項目  | 検証・評価結果、指摘事項等  | 市の考え方  | 担当部課名  |
|---|--|--|--------|
| 「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check=評価」⇒「Action=見直し」が機能しているか。  「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 | ・機能している。 ・視点が大きく、具体性に欠ける面もあるが、現状と課題に対応しており、国の財源等の問題があることからこれ以上のことは記載が困難と思われる。 ・「災害への対応があったことから目標値を下回る結果となった」という表現では、人的な要因か、予算的な要因かがわかりにくいため、明確に記載した方が良いのではない   | 天候不順や大雨による災害への対応に時間を要したこと<br>から発注時期を見直していきたいという人的な要因であ<br>り、来年度の評価においては、より分かりやすい記載に努 |        |
| 「3 成果指標の達成状況」の<br>「(達成状況に関する背景・要<br>因)」の分析が的確に行われて<br>いるか。                            | か。 ・成果指標が目標値を下回ったことについて、「事業が進行中であるため」という記載だけではなく、計画に対してどの程度まで進んだのか、完了しなかったところについてはその背景や理由を具体的に記載した方が良いのではないか。  | 了まで達しなかった理由は様々なケースがあるため、具体   | 建設部道路課 |
| 「6 施策の総合的な評価」が的確に行われているか。   | ・「(課題)」1つ目の「ストック総点検に伴う点検経費、点検に伴う修繕経費が増高し、」の記述については、直後の「道路法に基づく5年に1回の定期点検の点検経費や修繕経費も加わるため」の要因となるものか、「・・増高するとともに」の意味で並列となるものなのかわかりにくい。 ・「(課題)」2つ目の「活発化していることから」については、直後にも「・・・から」が続くため「活発化しており」とした方がわかりやすい。 | 点検経費と修繕経費が多額であるという意味であり、並列での表現としているものです。2つ目のご指摘とともに、<br>来年度の評価においては、より分かりやすい記載に努めます。 |        |

| ●シート記載内容全般について | ・「1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組」や「3  | 「1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組」について |  |
|----------------|-----------------------------|----------------------------|--|
|                | 成果指標の達成状況」などにおいて、「〇か所」など具体的 | は記載可能な取組については箇所数を表記するなど、来年 |  |
|                | な数値を記載するとわかりやすいのではないか。      | 度の評価においては、より分かりやすい記載に努めます。 |  |
|                |                             | 「3 成果指標の達成状況」については、成果指標が市道 |  |
|                |                             | 全体に対する整備割合を設定していることから、箇所数で |  |
|                |                             | はなく延長での記載としており、現状の表現としていま  |  |
|                |                             | <b>す</b> 。                 |  |

施策№2-2-2「公共交通の確保」

| 評価項目  | 検証・評価結果、指摘事項等   | 市の考え方                      | 担当部課名    |
|---|---|----------------------------|----------|
| 「◎前年度評価の振り返り」にお<br>いて前年度の「Check=評<br>価」⇒「Action=見直<br>し」が機能しているか。 | ・それぞれの計画に基づき事業を展開しており、機能しているといえる。   |                            |          |
| 「5 施策を構成する事務事業の<br>検証」が的確に行われている<br>か。                            | ・的確である。 ・「沿岸地域等市外からの新花巻駅駐車場利用者の増加を<br>見据え」という記載に関する参考意見として、新花巻駅利<br>用者を増やし、「はやぶさ」の停車数を増やしたいという理<br>由の説明があったが、「沿岸地域等市外からの」という限定<br>は、必要ないのではないか。                                 | ご指摘のとおりと考えます。              |          |
| 「3 成果指標の達成状況」の<br>「(達成状況に関する背景・要<br>因)」の分析が的確に行われて<br>いるか。        | ・成果指標「公共バスの利便性に満足している市民の割合」<br>については、アンケート調査では限界があり、成果として<br>認識されない部分もある。また、国の施策や民間事業者の<br>動向など市の取組だけでは限界があり評価が難しいとこ<br>ろである。<br>・成果指標「花巻空港年間利用者数」については、背景・<br>要因が示されており、的確である。 | 価についても把握が困難であることから、成果指標につい | 建設部都市政策課 |
| 「6 施策の総合的な評価」が的<br>確に行われているか。                                     | ・的確に行われている。 ・公共交通の利用促進については、利用者が増えなければ路線が廃止されて不便になり、ますます利用者が減るという負のスパイラルから抜け出せないが、無限に予算を使えるわけではないことから難しい課題である。  |                            |          |
| ●シート記載内容全般について  | ・空港利用促進と公共交通(バス)確保の記載順について、<br>「6 施策の総合的な評価」のみ異なっており、少々見づらく感じた。   |                            |          |

施策№2-4-1「生活相談の充実」

| 評価項目            | 検証・評価結果、指摘事項等                                  | 市の考え方                      | 担当部課名        |
|-----------------|--|----------------------------|--------------|
| 「◎前年度評価の振り返り」にお | ・「(前年度評価時の今後の方向性)」において、「出前講座                   | 出前講座の内容は、社会情勢等にあわせて新しいものに変 |              |
| いて前年度の「Check=評  | が有効な手段である」としながら、「(反映状況)」には記                    | えておりますが、平成30年度は「架空請求にご用心!こ |              |
| 価」⇒「Action=見直し」 | 載がなく、取組の状況が見えない。                               | れが騙しの手口です!」とし内容の充実を図ったところで |              |
| が機能しているか。       | <ul><li>「(反映状況)」の2つ目について、「SOS ネットワーク</li></ul> | す。来年度の評価の際は、取組状況が分かる記載といたし |              |
|                 | を活用し、情報共有を図った」と記載があるが、取組の結                     | ます。                        |              |
|                 | 果が不明である。「SOS ネットワーク」について説明した                   | ご指摘のとおり、言葉の説明や記載が不足しておりました |              |
|                 | 上で、「情報共有して効果的に注意喚起を行った」などと                     | ので、来年度の評価においては、より分かりやすい記載に |              |
|                 | 記載してはどうか。                                      | 努めます。                      |              |
| 「5 施策を構成する事務事業の | ・「◎前年度の評価の振り返り」や「6 施策の総合的な                     | 平成30年度の出前講座の回数は、前年度より減少してお |              |
| 検証」が的確に行われているか。 | 評価」において「出前講座が有効な手段である」としなが                     | りますが、市の出前講座全体の中では2番目の実施回数で |              |
|                 | ら、「出前講座」の回数が減っている。その要因を分析し                     | あり、市民の関心が高い講座であります。実施回数が減っ |              |
|                 | たうえで、ホームページなどの活用へシフトしたり、受け                     | ているのは、講座の依頼が一番多い老人クラブの減少、加 | <b>本民生活郊</b> |
|                 | 身ではなく積極的に出向いたりすることを検討、記載して                     | 入者数の減少が要因と思われます。来年度においては、広 | 市民生活部市民生活総   |
|                 | はどうか。  | 報、コミュニティFM、ホームページなども活用し、周知 | 中氏主治総合相談セン   |
|                 |  | の拡大に努めてまいります。              | - 内<br>- ター  |
| 「3 成果指標の達成状況」の  | ・「関係機関と情報共有している」との記載では、情報共                     | ご指摘のとおり、来年度の評価においては分かりやすい表 | 3-           |
| 「(達成状況に関する背景・要  | 有によりどういう効果があったのか不明である。「市にお                     | 現に努めます。具体的な対策を伝える記載が適切と考えま |              |
| 因)」の分析が的確に行われてい | いては、関係機関と情報を共有し、被害や予兆電話があっ                     | <b>ਰ</b> 。                 |              |
| るか。             | た際には・・・で注意喚起をしている」という記載にして                     |                            |              |
|                 | はどうか。  |                            |              |
| 「6 施策の総合的な評価」が的 | ・「(課題)」としては、「出前講座」の回数や受講者の減と、                  | ご指摘のとおり、現状と課題に対応する総合的な評価とす |              |
| 確に行われているか。      | 広報や SNS では伝わらない状況であることへの対応があ                   | るべきところでしたので、広く市民に伝わる周知方法を課 |              |
|                 | げられるべきではないか。                                   | 題と捉えながら、今後の評価を行ってまいります。    |              |
|                 | ・その上で、「(今後の方向性)」において、受け身ではな                    |                            |              |
|                 | く積極的に出向いたりすることを検討することにつなげ                      |                            |              |
|                 | てはどうか。   |                            |              |
|                 | ・「(課題)」、「(今後の方向性)」ともに、施策の「現状と                  |                            |              |

|                | 課題」2つ目の「全ての住民には伝わらない状況」に対応するような記載とすることで、「施策の目指す姿」の達成につながるのではないか。                  |  |
|----------------|---|--|
| ●シート記載内容全般について | •「情報共有を『図った』」といった記載では何をしたのか、<br>何につながったのかが伝わらないため、「情報共有し、〇<br>〇した」など具体的に記載した方が良い。 |  |

施策№2-4-3「交通安全の推進」

| 評価項目  | 検証・評価結果、指摘事項等  | 市の考え方   | 担当部課名                   |
|---|--|---|-------------------------|
| 「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check=評価」⇒「Action=見直し」が機能しているか。  「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 | ・「(前年度評価時の今後の方向性)」と「(反映状況)」とが対応するように記載すべきである。具体的には、1つ目の「交通指導員の数を確保する」という方向性に対し、「負担軽減に努めた」とあるが、「負担軽減に努め、〇名確保した」などと記載してはどうか。 ・「~に努める」という表現があるが、効果のある手立てが必要であり、具体的に何をするのか記載すべきである。・交通指導員の確保については、なり手がない理由を明確にした上で、その解決策や新たな事業などが記載されているとわかりやすい。・交通指導員数の確保ばかりではなく、数が少ないなりの | の今後の方向性に対応する反映状況の記載が不足しておりましたので、来年度の評価の際は、対応する形で具体的な記載に努めてまいります。<br>現在、年齢や性別に関わらず働き方は多様化しており、新たに交通指導員となることが難しい現状があると思われます。対策として、交通指導員養成講座を継続実施していくとともに、交通指導員の活動を見直し、指導員業務が負担とならない環境づくりを図り、担い手確保に努めてまい |                         |
|   | 取組をしていくという考え方もあるのではないか。  | ご指摘のとおり、課題の分析や改善策にかかる記載が不足<br>しておりますので、来年度の評価の際は、課題の分析をふ<br>まえた上で具体的な記載をしてまいります。  | 市民生活部<br>市民生活総<br>合相談セン |
| 「3 成果指標の達成状況」の<br>「(達成状況に関する背景・要<br>因)」の分析が的確に行われてい<br>るか。                            | ・「高齢者交通事故(人身)件数」の成果指標の達成度「c」に関しては、高齢者が歩行者(被害者)の場合が多いとの説明があったことから、「高齢者免許人口の増加」だけが要因とは言えないのではないか。  | となった事故は全体の50%です。また、高齢ドライバー  | ター                      |
| 「6 施策の総合的な評価」が的<br>確に行われているか。   | ・的確に行われている。 ・「交通安全教室」において「交通事故を身近に捉える工夫」に関連した参考意見として、一般的には交通事故の悲惨さなどを伝える内容が多いと思われるが、交通安全の価値を伝えるようなポジティブな内容があっても良いのではないか。   |   |                         |

| ●シート記載内容全般について | ・「交通事故(物損)件数」については、高齢者の割合が | 交通事故は高齢者に限ったことではないことから、発生状 |  |
|----------------|----------------------------|----------------------------|--|
|                | 半数程度であるとのことから、施策の目指す姿の達成に向 | 況や時間帯など様々な観点から分析し、その対策もふまえ |  |
|                | けて、残り半数の高齢者以外の観点の分析も必要ではない | て広く周知に努めてまいります。            |  |
|                | か。高齢者ばかりに事故の要因があるかのような誤解を与 |                            |  |
|                | えないよう配慮が必要である。             |                            |  |

施策№3-1-2「家庭の教育力向上」

| 評価項目            | 検証・評価結果、指摘事項等                               | 市の考え方                      | 担当部課名                |
|-----------------|---|----------------------------|----------------------|
| 「◎前年度評価の振り返り」にお | ・「検討する」という方向性に対応するように、充分に検                  | 「二コニコチャレンジ」における取組の少なかった項目に |                      |
| いて前年度の「Check=評  | 討されたのか伝わるよう内容や検討状況の記載が必要で                   | ついて、課内で検討するとともに、就学前教育振興会議で |                      |
| 価」⇒「Action=見直し」 | はないか。                                       | も協議していただきました。取組の少ない項目を教育委員 |                      |
| が機能しているか。       | <ul><li>これまで取り組みが少なかった項目について取り組んだ</li></ul> | 会の推奨項目としたところ、取り組む家庭が増加したと分 |                      |
|                 | 家庭が増加した理由をもう少し掘り下げて検討する必要                   | 析しております。今後は実施内容及び検討状況が分かるよ |                      |
|                 | があるのではないか。                                  | う丁寧な記載に努めてまいります。           |                      |
| 「5 施策を構成する事務事業の | ・成果向上のため、実施内容の工夫の必要性について記載                  | ご指摘のとおり、成果の向上を図る事業への言及がないた |                      |
| 検証」が的確に行われているか。 | が必要ではないか。                                   | め、継続実施などの視点をもち、就学前教育振興会議や保 |                      |
|                 | ・成果の向上を図るべき事業としては、「ニコニコチャレ                  | 護者会等を活用して意見をいただきながら検討してまい  |                      |
|                 | ンジ」について実施期間で終ってしまわないよう、継続を                  | ります。                       |                      |
|                 | 工夫するという視点や就学前教育振興会議をさらに施策                   |                            |                      |
|                 | 推進に活用するための内容充実などについて改善の必要                   |                            | *h <del>*</del> > †0 |
|                 | 性があるのではないか。                                 |                            | 教育部 こども課             |
| 「3 成果指標の達成状況」の  | ・事業効果があらわれていると判断した理由について、も                  | 「ニコニコチャレンジ」は、家庭で基本的な生活習慣の確 | しても味                 |
| 「(達成状況に関する背景・要  | う少し詳細な記載が必要ではないか。                           | 立と自立心を育成するために実施している事業であり、同 |                      |
| 因)」の分析が的確に行われてい | ・前年度の成果指標の実績は上がっているものの、「二コ                  | 事業に取り組む家庭が増加したことから、成果指標の実績 |                      |
| るか。             | ニコチャレンジ」による効果かどうか断定して良いかの根                  | 値が上がった要因の一つと判断したところです。他の要因 |                      |
|                 | 拠が明確でないため、もう少し詳細な分析が必要ではない                  | として、こどものメディア利用についてマスメディアで取 |                      |
|                 | か。  | り上げられる機会があることから、保護者の関心が高まっ |                      |
|                 |   | ていることが考えられます。              |                      |
|                 |   | 来年度の評価の際は、詳細な記載に努めてまいります。  |                      |
| 「6 施策の総合的な評価」が的 | ・昨年度における今後の方向性が「ニコニコチャレンジ」                  | ご指摘のとおり、施策の評価につきましては、事業の評価 | ]                    |
| 確に行われているか。      | の参加しやすさの改善であったことから、その点に記載が                  | にとどめず施策の目指す姿に近づくための視点で分析・評 |                      |
|                 | 集中しているが、施策の目指す姿に近づくための視点で課                  | 価するよう努めてまいります。             |                      |
|                 | 題をとらえて整理していく必要があるのではないか。                    |                            |                      |

| ●シート記載内容全般について | ・説明を聞くと理解・納得できる部分も多いので、もう少 | シートの記載については、丁寧でかつ分かりやすい記載に |       |
|----------------|----------------------------|----------------------------|-------|
|                | し評価シートへ詳しい記載が必要ではないか。      | 努めてまいります。                  | 教育部   |
|                | ・評価シートを見て市民が理解できるような平易で具体的 |                            | こども課  |
|                | な表記による記載を目指して改善に努めてほしい。    | 様式自体の変更は当面難しいことですが、施策評価シート |       |
|                | ・市民向けの公表資料においては、要点がわかりやすく見 | 作成時には分かりやすく具体的な記載を求めることや、外 | 総合政策部 |
|                | やすい様式を工夫してほしい。             | 部評価実施時にはシートの見方の補足説明を行いながら  | 秘書政策課 |
|                |                            | 理解を深めていただくことに努めてまいります。     |       |

施策№3-1-3「就学前教育の充実」

| 評価項目            | 検証・評価結果、指摘事項等               | 市の考え方                        | 担当部課名       |
|-----------------|-----------------------------|------------------------------|-------------|
| 「◎前年度評価の振り返り」にお | ・検討の結果としてどの様な意図により見直しがなされた  | 「はなまき保幼一体研修事業」は、これまで外部講師によ   |             |
| いて前年度の「Check=評  | のかについて、見直し内容や検討状況を記載すべきではな  | る研修を行っておりましたが、平成 28 年度に外部講師よ |             |
| 価」⇒「Action=見直し」 | しいか。                        | り園内における研修を充実させるべきとの助言を受ける    |             |
| が機能しているか。       |                             | とともに、保育者自らの保育を見直す機会として実施する   |             |
|                 |                             | ことも必要とのことから、外部講師のみではなく内部講師   |             |
|                 |                             | による研修の充実を図ったところです。           |             |
|                 |                             | 来年度の評価の際には、施策全体の振り返りを記載するよ   |             |
|                 |                             | う努めます。                       |             |
| 「5 施策を構成する事務事業の | ・主な事業として多くの記載があるが、それらの事業につ  | 成果がBの事業については、一定の成果が上がっているも   |             |
| 検証」が的確に行われているか。 | いての検証結果も記載が必要ではないか。         | のと判断し検証結果について記載しておりませんでした。   |             |
|                 | ・事業の定例化、形骸化を防止する視点も含め、事業内容  | 今後は、成果がBの事業についても検証結果を記載すると   |             |
|                 | の改善や充実などについて検討の余地があるのではない   | ともに、必要に応じて改善を図ってまいります。また、新   |             |
|                 | か。                          | たな事業実施の必要性については、今後検討してまいりま   | */p **> *** |
|                 | • 直結度が高い事業が少ないことから、新規の事業につい | <b>す</b> 。                   | 教育部         |
|                 | ても検討の余地があるのではないか。           |                              | こども課        |
| 「3 成果指標の達成状況」の  | ・年度により成果指標の実績数値にバラツキがある中、成  | 年度により実績数値にバラつきはありますが、毎年対象児   |             |
| 「(達成状況に関する背景・要  | 果が上がっていると判断する根拠について、もう少し詳細  | 童が変わる中で目標値を上回る傾向が続いていることか    |             |
| 因)」の分析が的確に行われてい | な分析が必要ではないか。                | ら、成果が上がっていると判断いたしました。分析につい   |             |
| るか。             |                             | ては手法を検討し、来年度の分析につなげてまいります。   |             |
| 「6 施策の総合的な評価」が的 | ・研修参加者の動向について、理由の分析を踏まえた整理  | 成果指標は平成 29 年度以降目標値を上回っており、小学 |             |
| 確に行われているか。      | が必要ではないか。                   | 校からも、小学1年生に落ち着きが見られるとの回答があ   |             |
|                 | ・昨年度における今後の方向性が研修会であったことか   | ることから、事業実施による一定の成果が上がっていると   |             |
|                 | ら、その点に記載が集中しているが、施策の目指す姿に近  | 判断しております。しかしながら、「はなまき保幼一体研   |             |
|                 | づくという視点で総合的な評価を行う必要があるのでは   | 修」については、目標値を下回っており、その分析には研   |             |
|                 | ないか。                        | 修参加者へのアンケートが有効と考えておりますので、今   |             |
|                 |                             | 年度より実施し、来年度の評価につなげてまいります。    |             |
|                 |                             | 研修会の実施に記載が集中してしまいましたが、今後は施   |             |

|                |   | 策の目指す姿に近づくための視点で分析・評価を行うよう<br>に努めてまいります。 |       |
|----------------|---|--|-------|
| ●シート記載内容全般について | ・説明を聞くと理解・納得できる部分も多いので、もう少                  | シートの記載については、丁寧でかつ分かりやすい記載に               |       |
|                | し評価シートへ詳しい記載が必要ではないか。                       | 努めてまいります。<br>                            | 教育部   |
|                | ・評価シートを見て市民が理解できるような平易で具体的                  |  | こども課  |
|                | な表記による記載を目指して改善に努めてほしい。                     | 様式自体の変更は当面難しいことですが、施策評価シート               |       |
|                | <ul><li>市民向けの公表資料においては、要点がわかりやすく見</li></ul> | 作成時には分かりやすく具体的な記載を求めることや、外               | 総合政策部 |
|                | やすい様式を工夫してほしい。                              | 部評価実施時にはシートの見方の補足説明を行いながら                |       |
|                |   | 理解を深めていただくことに努めてまいります。                   | 地自以水床 |

施策№3-2-4「教育環境の充実」

| 評価項目  | 検証・評価結果、指摘事項等  | 市の考え方  | 担当部課名                 |
|---|--|--|-----------------------|
| 「◎前年度評価の振り返り」にお<br>いて前年度の「Check=評<br>価」⇒「Action=見直し」<br>が機能しているか。 | ・反映状況の記載において、実際に説明会を行った地区名を入れるなど、もう少し具体的な表現で記載した方がわかりやすいのではないか。  | 今後は具体的で分かりやすい記載に努めます。  |                       |
| 「5 施策を構成する事務事業の<br>検証」が的確に行われているか。                                | ・具体的に行った内容の記載が少なく、結果のみの表現となっていることから、取り組みの意図や背景などが伝わりにくいので、もう少し具体的な内容について加筆した方がわかりやすいのではないか。  | ご指摘のとおり、今後の課題のみを記載していることから、来年度の評価においては取組の意図を加えるなど、より分かりやすい記載に努めます。   | 教育部<br>学務管理課          |
| 「3 成果指標の達成状況」の<br>「(達成状況に関する背景・要<br>因)」の分析が的確に行われてい<br>るか。        | ・成果指標が学校長さんの意見のみを参考にする内容になっているが、事業成果を把握する指標として地域や家庭の意見を取り入れるなど、複数の視点で評価した方が良いのではないか。   | 学校目標の達成度は、各校が策定した「まなびフェスト」<br>について、保護者や学校評議員による評価結果を示したも<br>のであり、地域や家庭の意見が反映されていると考えてい<br>ます。  |                       |
| 「6 施策の総合的な評価」が的<br>確に行われているか。                                     | ・課題とすべき内容の背景や今後の方向性に関する検討経過や理由をもう少し具体的に記載した方がわかりやすいのではないか。   | ご指摘のとおり端的な記載となっておりますので、来年度<br>の評価では背景や必要性を具体的に記載し、分かりやすい<br>表記に努めます。   |                       |
| ●シート記載内容全般について  | ・説明を聞くと理解・納得できる部分も多いので、もう少し評価シートへ詳しい記載が必要ではないか。<br>・評価シートを見て市民が理解できるような平易で具体的な表記による記載を目指して改善に努めてほしい。<br>・市民向けの公表資料においては、要点がわかりやすく見やすい様式を工夫してほしい。 | 全般的に、具体的で分かりやすい記載となるよう努めます。<br>様式自体の変更は当面難しいことですが、施策評価シート<br>作成時には分かりやすく具体的な記載を求めることや、外<br>部評価実施時にはシートの見方の補足説明を行いながら<br>理解を深めていただくことに努めてまいります。 | 教育部 学務管理課 総合政策部 秘書政策課 |

施策№3-4-3「大規模スポーツ大会の開催」

| 評価項目  | 検証・評価結果、指摘事項等   | 市の考え方  | 担当部課名                                  |
|---|---|--|--|
| 「◎前年度評価の振り返り」において前年度の「Check=評価」⇒「Action=見直し」が機能しているか。  「5 施策を構成する事務事業の検証」が的確に行われているか。 | ・「いわてスポーツコミッション」がどのような内容の団体なのかの説明を記載した方がわかりやすいのではないか? ・反映状況の表記においては、誘致活動の具体的な活動内容を記載した方がわかりやすいのではないか? ・成果指標の達成度が、「C」という状況を踏まえると、新規事業を検討する余地があるのではないか。 | いずれもご指摘のとおり説明が不足しておりましたので、<br>今後は不足する情報を補いながら丁寧な記載に努めてまります。<br>新規事業の検討の前に目標値の見直しを検討します。<br>2020年はインターハイハンドボール競技等のほか、オリンピック・パラリンピックに関連した事業を予定しております。<br>国体などの大きな大会があった年は増が見込まれる一方、<br>その翌年の実績が減少していることから、2021年以降の | 生涯学習部<br>スポーツ振                         |
| 「3 成果指標の達成状況」の<br>「(達成状況に関する背景・要<br>因)」の分析が的確に行われて<br>いるか。                            | ・成果指標の達成度に関する、要因分析結果や明確な判断<br>根拠を記載する必要があるのではないか。<br>・目標値と実績値の乖離が大きいので、施策の目指す姿の<br>達成度を図る指標としてわかりやすいよう、目標数値も含<br>めた見直しの必要があるのではないか。                   | 2020 年はインターハイのハンドボール競技等のほか、オリンピック・パラリンピックに関連した事業を予定してい   | 興課                                     |
| 「6 施策の総合的な評価」が的<br>確に行われているか。   | ・大規模大会の開催と市民の利用の日程調整に苦慮しているなどの実情を具体的に記載した方が課題や今後の方向性につながる背景も含め理解しやすいのではないか。   | ご指摘のとおり端的な記載となっておりましたので、今後は具体的な記載に努めます。  |  |
| ●シート記載内容全般について  | ・説明を聞くと理解・納得できる部分も多いので、もう少し評価シートへ詳しい記載が必要ではないか。<br>・評価シートを見て市民が理解できるような平易で具体的な表記による記載を目指して改善に努めてほしい。<br>・市民向けの公表資料においては、要点がわかりやすく見やすい様式を工夫してほしい。      | 様式自体の変更は当面難しいことですが、施策評価シート作成時には分かりやすく具体的な記載を求めることや、外   | 生涯学習部<br>スポーツ振<br>興課<br>総合政策部<br>秘書政策課 |

## 行政評価の改善に関する提言

| 評価項目          | 検証・評価結果、指摘事項等   | 市の考え方   | 担当部課名      |
|---------------|---|---|------------|
| 行政評価の改善に関する提言 | 市民にわかりやすい表現とするために、抽象的、一般論的<br>な記載ではなく、花巻市の現状や課題、分析内容、検討過<br>程等が伝わるような具体的な記載とすべきである。 | 施策評価シートを各課へ作成依頼する際に、分かりやすくかつ具体的な記載を求め、市民に伝わるような記載となるよう担当課と当課で調整してまいります。 | 総合政策部秘書政策課 |